

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< D区分 > 千船駅自転車駐車場、塚本駅自転車駐車場、出来島駅自転車駐車場、姫島駅自転車駐車場、福駅自転車駐車場、御幣島駅自転車駐車場、加島駅自転車駐車場、神崎川駅自転車駐車場、十三駅自転車駐車場、新大阪駅北口自転車駐車場、新大阪駅南口自転車駐車場、西中島南方駅自転車駐車場、東三国駅自転車駐車場、東淀川駅自転車駐車場、相川駅自転車駐車場、井高野駅自転車駐車場、上新庄駅自転車駐車場、下新庄駅自転車駐車場、新大阪駅東口自転車駐車場、瑞光四丁目駅自転車駐車場、崇禅寺駅自転車駐車場、だいどう豊里駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局総務部管理課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち100％
指定管理者名	株式会社アーキエムズ
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	100%
年度実績	98.1%
達成率	98.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度差
利用人数（定期）	193,133	193,305	-172
利用台数（一時）	2,179,264	2,125,156	54,108
利用率（定期）	78.2%	78.2%	0.0%
利用率（一時）	95.7%	97.1%	-1.4%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	623,922,550	599,992,250	-43,345,450	新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。
	計画	667,268,000	664,043,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	—	—		
	計画	—	—		
合計	実績	623,922,550	599,992,250	-43,345,450	
	計画	667,268,000	664,043,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	212,192,853	225,721,815	24,223,053	計画時の想定より、最低賃金が上昇したため。
	計画	187,969,800	183,419,200		
管理費	実績	384,913,751	348,113,911	-60,296,328	計画より、再委託費が減少したため。
	計画	445,210,079	400,698,740		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	597,106,604	573,835,726	-36,073,275	
	計画	633,179,879	584,117,940		

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	98.1%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：普段、駐輪場を利用するエリア、機械式駐輪場について、管理事務所スタッフについて、駐輪場の利用満足度、導入してほしいサービス
調査方法（期間）：アンケート調査（とても満足している・満足している・普通・不満がある・とても不満があるの5段階評価）D区分全駐輪場（令和7年2月25日～3月31日）
回答率：64.5%（22駅（配布 2140枚 回収1381枚））
結果の算出方法：利用満足度のみ抽出し、算出。
結果：とても満足している・満足している・普通 98.05% 不満がある・とても不満がある1.95%

6 外部専門家意見

・管理費において、計画時に何を見込んでいたか、またそれが実行できなかった理由は何かということを確認する必要がある。計画値としては前年度から増加しているため、それが実行されないことによる今後の収入などに影響があるはずである。
・年度単位ではあるが、収入と支出のバランスが保たれている。その要因としてサポートセンター業務において経費削減を実現している点が挙げられるが、前年度の管理費削減実績から継続した実績として大変高く評価できる。今後、利用状況が大きく上昇する局面は考えにくいことから、他区分も含め、同様の取組が実現することが望まれる。
・利用者満足度調査では、達成率が下がるにも関わらず、目標値を100%としている点は意気込みとしては評価できるが、現実的な目標に再設定することも検討の余地があると考ええる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において、「とても満足している・満足している・普通」の評価の割合が98.05%であった。
市費の縮減	B	・提案どおりの基本納付金額を納め、計画どおりの市費削減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・事業計画で提案のあった機械式駐輪場設備の導入、キャッシュレス対応などに取り組み、サービスの向上に努めていることを確認した。上新庄駅駐輪場では、利用状況を踏まえて定期ブロックを一時利用（機械式）に変更するよう取り進むなど、利用台数の増・近隣の不正駐輪対策にも努めていた。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施していることを確認した。なお、長期駐輪の撤去時期が全駐輪場で統一されていないことが実地調査にて発覚したため、全現場での改善を求めた（対応済）。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・上記のとおりサービス向上に努めている点について評価できる。今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。